

「沿道空間の新たな配置計画の話し合い」を開催しました

7月5日（土）、6日（日）の2日間、富士見丘小学校で、放5に直接面してお住まいの方等のうち、事前に確認した参加希望者を対象として、放射第5号線（高井戸西区間）の「沿道空間（副道、自転車空間、歩道、植樹帯）の新たな配置計画の話し合い（第1回）」を開催しました。話し合いは、全3回を予定しています。

今回の話し合いでは、最初に東京都から沿道空間の新たな配置計画の基本的な考え方（放5かわら版第2号で示した内容）やアンケート結果等をご説明させていただき、その後、参加者全員が意見を述べられるように数名を1班として、図面等で場所等を確認しながら話し合いを行いました。

話し合いで頂いた意見には、アンケート結果と同様、以下のような様々な意見がありました。

○「自転車と歩行者の構造分離」について

・児童、高齢者等の歩行者と自転車の双方にとって安全な構造分離がよい。また、自転車の相互通行を考えるともっと広くてもよいのではないか。

・植樹帯も広く欲しいため、構造分離をしなくてもよいのではないか。 など

○「植樹帯の配置変更」について

・歩道側に中木による木陰、本線側に高木による高速道路の目隠しが出来る配置が良い。また、交通安全等を考えると植樹帯が無くなる場所ができるのはやむを得ない。

・植樹帯無しは困る。自転車と歩行者の分離よりも、植樹帯または遮音壁が欲しい。 など

○「街路樹の更新」について

・毛虫、ギンナン等に困っている。また、安全・防犯等の視点からも心配なため既存樹木を伐採し、更新してほしい。

・桜など気に入っている街路樹もあるため、できる限り残してほしい。 など

○「築堤（土盛りの上）に樹木から植樹帯への変更」について

・日当たりも悪いため、築堤から植樹帯への変更に賛成。

・小さくてもよいので、できる限り残してもらいたい。 など

沿道空間の新たな配置計画につきましては、引き続き、話し合いを進めるとともに、放5（高井戸西区間）沿道の皆様等のご意見並びに関係機関（警視庁等）との協議の上、都で決定していきますので、ご理解とご協力を頂けると幸いです。



【写真】
（左）スライドによる全体説明の様子 （右上）住民が意見を述べている様子 （右下）発表による意見の確認・共有の様子

問合せ先・郵送先

東京都 第三建設事務所 工事第一課 環境対策担当係
TEL 03-3387-5347

【発行】
東京都第三建設事務所 工事第一課
東京都中野区中野4-8-1 中野区総合庁舎2階

第三建設事務所のHP
<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/sanken/index.html>

平成26年度
登録 4号

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

東京都市計画道路幹線街路放射第5号線

第3号

三建・放5かわら版

VOL.3 2014. 8
【発行】
東京都第三建設事務所
〒164-0001
中野区中野4-8-1-2F
TEL.03-3387-5347

4月に発行しました放5かわら版第2号において、放5（高井戸西区間）の沿道空間（副道、自転車空間、歩道、植樹帯）の新たな配置計画の基本的な考え方等を示し、皆様方からアンケート等によりご意見を頂きました。

今号では、アンケートの取りまとめ結果並びに7月開催した放5に直接面してお住まいの方等を対象とした「沿道空間の新たな配置計画の話し合い」についてご報告いたします。

アンケートの配布・回収

- ・実施期間：平成26年4月18日（金）～5月7日（水）
- ・配布部数：約2,500部
- ・配布範囲：放5（高井戸西区間）約0.9kmの両側150m以内の家屋
- ・回収方法：郵送
- ・回答数：163部

沿道空間の新たな配置計画の基本的な考え方 ※詳細は放5かわら版第2号参照

沿道空間の新たな配置計画のコンセプト

- 見通しが良く、明るい、広がりのある空間
- 本線と分離した沿道空間（本線は高架下へ）
- 沿道へのアクセスの良い副道
- 自転車と歩行者を分離した安全な歩道空間（歩道拡幅）
- 歩道に適度な木陰
- 落葉の清掃が楽な街路樹の配置
- 歩道拡幅等に伴う植樹帯の配置変更及び既存街路樹の更新（既存樹木を伐採し、新たな植樹）

【将来の断面構成イメージ】

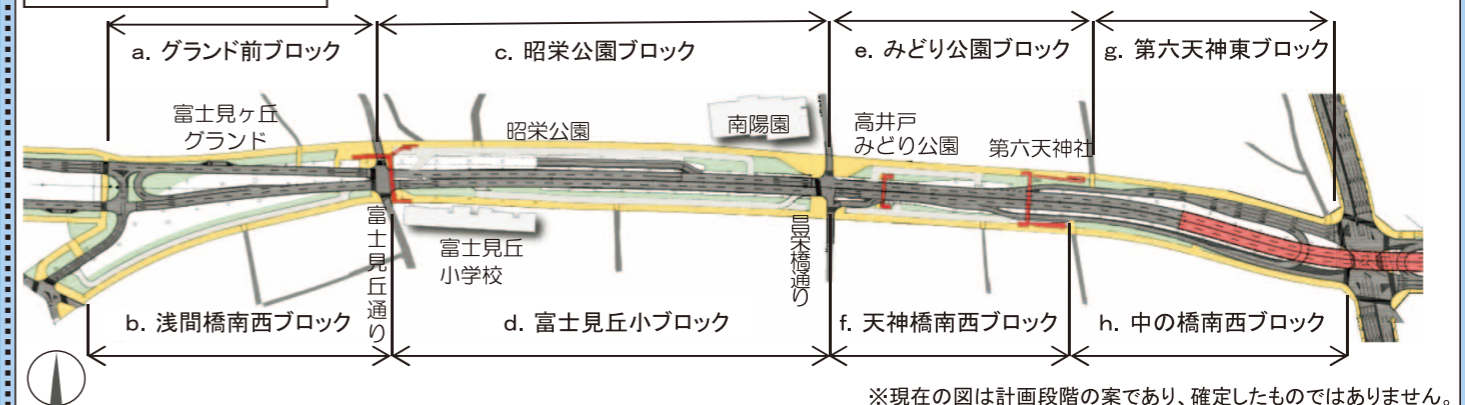


「副道」は、沿道の宅地等と本線をつなぐ（沿道にアクセスする）ための道路 「本線」は、通過する交通を主として担う道路

計画図（平面図）

【凡例】

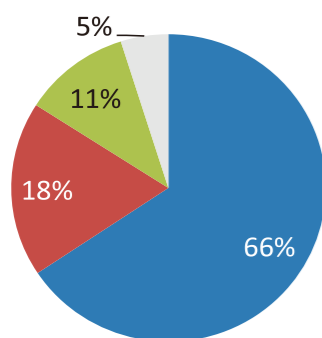
- 車道（上高井戸陸橋） ■ 車道（本線、側道、オフランプ） ■ 副道 ■ 緑地 ■ 自転車空間、歩道 ■ 横断歩道橋 ■ 高速道路橋脚



※現在の図は計画段階の案であり、確定したものではありません。

沿道空間の新たな配置計画等に関するアンケートの結果

問1 「基本的な考え方(沿道空間の新たな配置計画)」について



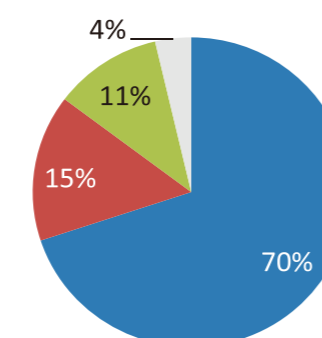
【賛成】

- 中央自動車道下の空間の有効利用。
- 子供、高齢者の歩行の安全上、自転車と歩行者の分離に賛成。
- 高く茂った樹木で昼間でも暗く、防犯上、良くない。
- 落葉の掃除が手間。常緑樹に更新を望む。

【反対】 ・今のままでよいと思う。
 ・自転車と歩行者の分離が、植樹帯を減らしてまで必要なのか。
 ・歩行者の空間が今よりも狭くなる。
 ・植樹帯が狭くなる。

【どちらでもよい】 ・自転車空間が狭いとすれば危険かも。

問2 「自転車と歩行者を分離した安全な利用空間確保(歩道拡幅)」について



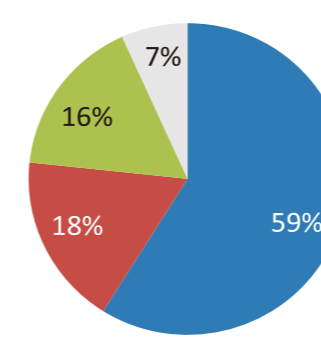
【賛成】

- 防犯(ひったくり)の防止から分離に賛成。
- 子供、高齢者の歩行の安全上、分離に賛成。
- 分離にはシンプルなポールでよい。
- 一目で、自転車と歩行者の空間が分かるように。

【反対】 ・分離の必要性を感じない。
 ・歩道上の自転車の取り締まりを強化すべき。
 ・分離は自転車同士の事故を引き起こすかも。
 ・自転車と歩行者が一緒の時、どうすればよいのか。

【どちらでもよい】 ・歩道拡幅は賛成だが、自転車と区別しなくてもよいのでは。

問3 「歩道拡幅等に伴う植樹帯の配置変更」について



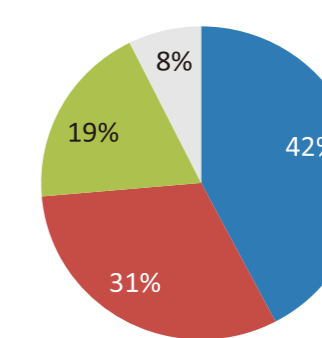
【賛成】

- 快適な歩行空間の確保、不法投棄及び不当駐車解消のための配置変更。
- 電柱の無電中化のためにも必要。
- 落葉掃除の軽減につながる。
- 車の出入りで見通しが良くなるため、改善となる。

【反対】 ・現在の植樹帯に満足。
 ・落葉の清掃はほどほどでよい。きれいすぎると自然を感じられない。
 ・毎年、花や落葉を楽しみにしている。

【どちらでもよい】 ・やむを得ない。

問4 「植樹帯の配置変更に伴う街路樹の更新(既存樹木を伐採し、新たな植樹)」について



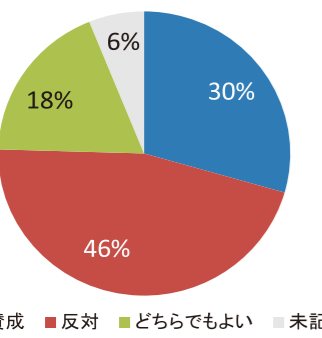
【賛成】

- 40年以上経過し、枝の落下、倒木で危険性が高まっているため、将来に備えた更新が必要。
- 大木は台風が来る度、大きく揺れ、折れて家に倒れたらと恐怖を感じる。早く更新してほしい。
- 繁茂しすぎて、防犯面で非常に心配。
- 落葉掃除は高齢者にとって辛い。
- 毛虫、ギンナンに悩まされている。

【反対】 ・一律の伐採に反対。残せる樹木は残して。
 ・今の樹木は野鳥や昆虫の憩いの場でもある。
 ・樹木を大切に。花や紅葉を楽しんでいる。
 ・落葉掃除は大変だが、健康維持に役立つ。

【どちらでもよい】 ・今の樹木に思い出もあるが、新たな樹木もいづれ思い出の樹木となる。

問5 「c. g. hブロックの自転車、歩行者の分離(歩道拡幅)に伴う「植樹帯無し」について



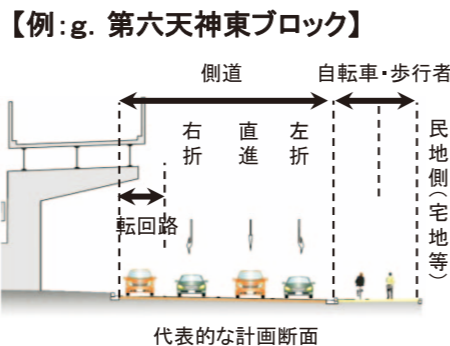
【賛成】

- 樹木が目隠しとなり、迷惑なトラック等の駐停車がある。その解消が期待できる。
- cには公園樹木がある。防犯上、見通せるのが良い。
- g, hは交通円滑化、交通安全上、やむを得ない。

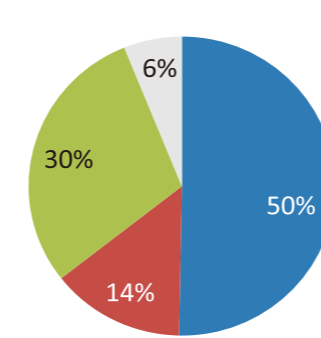
【反対】

- 杉並区目標「緑ゆたかで安全安心なまち」に違反。
- 現状のままが良いが、難しいのであれば、幅は狭くなくても植樹帯は必要。
- スポット的にでも樹木がほしい。
- 歩行者と自転車の間に樹木ではなく、車道との間に樹木が必要。

【どちらでもよい】 ・今よりは日差しはよくなるが、洗濯物が心配。



問6 「a. b.ブロックの自転車、歩行者の分離(歩道拡幅)に伴う築堤から植樹帯への変更」について



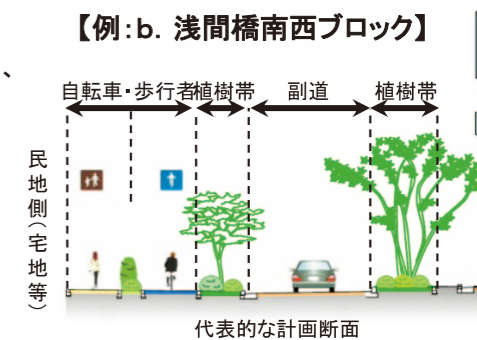
【賛成】

- 植樹帯により緑が保たれるため良い。
- 土盛りの圧迫感から解放され、見通しもよくなり、防犯上もよい。
- 土盛りの目隠しが、駐停車をしやすくしている。

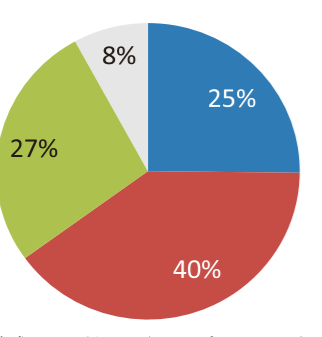
【反対】

- 今のままでよい。
- 自転車、歩行者の安全のために築堤を削っても、遮音効果が考えられるため、樹木を更新して築堤を残してほしい。
- 築堤で車が歩道に突っ込んでくる心配がない。

【どちらでもよい】 ・好きな空間だが、どちらがよいかわからない。



問7 「富士見丘小学校前交差点にある横断歩道の西側集約」について



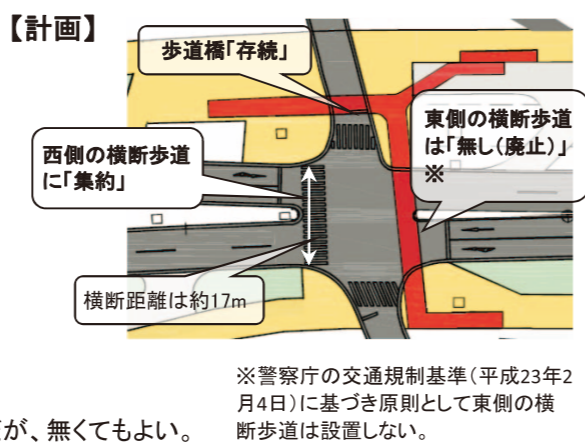
【賛成】

- 多少不便になるがやむを得ない。
- 車を運転する視点からも安全。
- 東側は見通しも悪いので、必要なし。

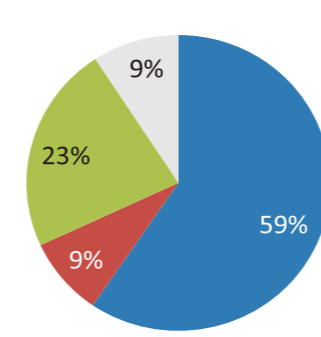
【反対】

- 東側に小学校、幼稚園、広い住宅街があり、東側の横断歩道の利用は多い。
- 富士見ヶ丘通りからの歩行者、自転車交通を考えても東側の横断歩道は必要。
- 原則にこだわり、信号無視に伴う事故のリスクを高める必要はない。

【どちらでもよい】 ・あった方が便利だが、無くてもよい。



問8 「利用者が少ないこと等に伴い昌栄橋歩道橋の撤去後、移設しない」について



【賛成】

- 死角が無くなり、不審者が減る。
- 利用者は少なく、ホームレス対策上も不要。
- 利用者が少ないためか、ゴミが歩道橋上と周辺に撒き散らかされて迷惑。
- 撤去するのが遅すぎる。

【反対】

- 現状維持。あると便利。
- 高齢者は青信号でも渡れない時もあり、ゆっくり、安全に渡るためにも歩道橋は欲しい。

【どちらでもよい】 ・近くに、天神橋歩道橋もあるため、不要ではないか。

